

●生活・法律相談は

◆市議会議員
高野 とも (7155) 1683
◆市議会議員
いぬい紳一郎 (7159) 2773
◆市議会議員
小田桐たかし (7154) 0878

◆市議会議員
安西 孝之 (7148) 6870
◆元市議会議員
若王子博夫 (7159) 0861
◆元市議会議員
せのお七重 (7146) 0691

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽におよせ下さい。

流山民報

2004年1月

第140号

編集発行人

日本共産党流山市議団

流山市加 4-1688

TEL/FAX (7157) 6140

E-Mail: kfbkd645@ybb.ne.jp

平和でも暮らしでも 願い届く政治へ 共同の輪を広げよう

目 本
共 産 党



2004年



イラク派兵が重大な局面を迎える中、新しい年が明けました。昨年の市議選で新たなメンバーとなった日本共産党市議団は、選挙の時の公約実現とみなさんから寄せいただいた願いの実現のために、全力を尽くしてまいります。

流山市では、昨年新市長が誕生し、これからの市政はどう変わるのかと、市民が注目しています。市長は就任早々、9億円の入浴施設の入札中止と計画の見直し、学校の耐震化対策の前倒しなどに着手。一方、前市長が進めてきた常磐新線沿線の巨大開発と、市民負担増につながる行財政改革路線を継承しています。深刻な不況に加えて、医療・年金改悪など小泉構造改革による痛みが、市民のくらしを直撃しています。今こそ、「住民の福祉の増進に寄与する」地方自治体の役割が問われています。今年は夏に参院選があり、消費税大増税や憲法改悪などが焦点となります。引き続き、「国民のくらしを支える政治」めざしてがんばります。今年もどうぞよろしく願いいたします。

2004年 新春のつどい

日時 1月18日(日) 午後2時

場所 南流山センター ホール

主催 日本共産党流山市委員会 日本共産党流山市後援会 会費:1000円

	共産党	新世会	創成会	新志会	公明党	社民・市民
焼却場持ち込みゴミなどの有料化条例	×	○	○	○	○	○
融和施設の根本見直しを求める請願書	○	×	○	×	×	×
イラク派兵中止を求める意見書	○	×	×	×	×	○
公正な職員採用を求める決議	○	×	○	×	○	○

ゴミ施設の入札疑惑 職員採用問題

不正・腐敗許さず、真相究明に全力を！

12月23日朝日新聞は、「職員採用試験における点数加算」問題で、日本共産党が提案した議会決議が、賛成多数で採択されたと報じました。この問題を明らかにした12月5日の報道に、多くの市民から驚き・怒りの声が寄せられています。すでに市長は「調査委員会を設置して事実究明する」と表明。わたしたちも事実究明と責任の明確化に力をつくします。

12月議会では、TBS・日本テレビの取材が入りました。入札疑惑をめぐる取材合戦がつづいています。わたしたちは、ゴミ焼却場の入札疑惑と造成工事の疑惑をねばり強く追及しました。9月の新聞報道以来、議会で取り上げているのは日本共産党だけ。「ムネオ疑惑」のようにがんばってとの期待の声が寄せられています。

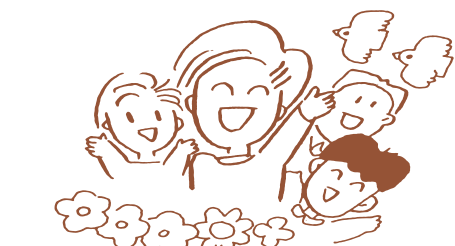


12月5日「朝日新聞」

イラク派兵反対！ 消費増税大増税ストップ！

平和と暮らしを守ります 日本共産党

小泉内閣は、イラク特措法による基本計画を決定。戦後初めて戦場に自衛隊を派遣する暴挙に突き進もうとしています。日本共産党は、12月議会で「イラクへの自衛隊派遣の中止をもとめる意見書」を社民・市民連合と共同提案。一方、自民保守派・公明、民主は、「自衛隊派遣はイラク復興に不可欠」と派遣促進の意をつくします。



■■■ 議会内外で奮闘し ■■■ みなさんとともに実現

市議会議員
高野 とも市議会議員
いぬい 紳一郎市議会議員
小田 桐たかし市議会議員
安西 孝之

「玄関前に高架橋」
長年の苦痛、解決へ

- 「玄関の真上に常磐新線の橋脚がそびえ、生活できない」
- マンションの老朽化などに
対応する相談窓口の設置
- 市営住宅大橋団地の地盤沈
下対策
- 老朽化した流山駅前陸
橋の改修を予算化
- 向小金の水害対策のた
めの排水整備
- 国道6号線南柏入り口
の横断歩道を残し、
歩道の障害物撤去を
約束

「収入が大幅に減少し、保険料が払いきれない」との訴えが増えています。
わたしたちは議会内外での運動を広げ、今議会は、「被保険者の権利を保障するためにも、減免制度の基準をつくるべき」と迫りました。市長は「整備することを検討したい」と約束。これまでの「つくらない」という態度から大きく前進しました。

その他の主な実績

- 地域融和施設計画の見直し
- 運河駅トイレの水洗化
- 初石駅東口臨時改札に向けて用地確保を約束
- 学校校舎の耐震診断・耐震補強

国保の減額・免除

基準づくりへ

この相談が寄せられたのが5年前。住民運動を広げ、国・県・市交渉、国会、県・市議会でも取り上げ、改善を求めました。ようやく、この地域に道路を新設することが決定。移転できることになりました。

これまでも
これからも

巨大開発のムダづかい許さず 暮らし・福祉まもりまます

日本共産党

日本共産党は、巨大開発のムダにメスを入れ、住民のくらしを守れと運動してきました。これからも、みなさんとともに力を尽くします。

12月議会でもみなさんの願いを届けて、市議団全員が一般質問を行い、その実現のためにがんばりました。

安全でおいしい 自校直営方式の給食を

高野とも議員

市内小中学校の給食のあり方を検討していた委員会の報告を受けて、市長は「平成17年度から調理業務を民間委託する」と表明しました。理由は、財政難から人件費を削減するというものです。

給食は教育の一環であり、安全でおいしい給食は自治体の責任で作らなければなりません。

常磐新線沿線巨大開発
情報公開を徹底し、
事業の見直しを
いぬい 紳一郎議員

地価下落により各地の区画整理事業が破たん。常磐新線

流山東高校をつぶさないで!

市長、教育長

「見直し求める」と表明

県教育委員会が発表した、流山東高校を廃校にし中央高校と統合する計画について、「母校をつぶさないで」「地域にかけがえのない学校なのに」と疑問と怒りが広がっています。

12月議会でも市長と教育長は、「強く見直しを求める」と表明。卒業生や保護者などが開始した、存続を求める運動を励ましています。

日本共産党が議会に提案した「存続を求める意見書」も全会一致で採択されました。私たちもいっしょに取り組みます。



沿線地区でも、地価の下落幅は1㎡あたり4万円〜7万円、このままでは事業が大赤字になることは確実です。

日本共産党は、実態を市民に明らかにするために、沿線開発の事業収支見とおしを明らかにすべきと主張。さらに、千葉モノレールのように公平な事業評価の実施を提案しました。巨大開発の見直しは、「一円まで生かす市政」にとっても不可欠な課題ではないでしょうか。

もっと便利な初石駅を

小田桐たかし議員

初石駅の利便性向上をもとめる駅利用者や沿線住民の切実な願いをうけ、わたしたちは、アンケートや署名、東武鉄道や市との交渉を重ねてきました。

12月議会では、東口開設に欠かせない用地確保を市長が表明。トイレの水洗化については「来年度実施へ協議したい」と約束しました。

さらに、「行政の責任で、交通バリアフリー法に基づく駅の基本構想づくりを」との追求に、「平成16、17年度に実施したい」と約束しました。

東部地域に一日も早い 公共下水道の整備を

安西孝之議員

他市と比べて公共下水道の普及率が低い流山市の中でも、東部地域はとくに遅れています。

常磐新線沿線開発では下水道をすぐ整備するのにも、古くからの市街化区域は整備しないのでは矛盾しています。

「いつになったら下水道が引かれるのか」の声に応え、質問しました。当局は「早急な整備が必要だが、松ヶ丘2丁目、7年後から、向小金1丁目はその後になる。計画の情報公開も検討していきたい」と答えました。